

CNALレポート・ジャパン

Conferencing industry News report, research & Analysis - CNA Report Japan

創刊：1999年12月

発行日：毎月15日・月末

取材・編集・発行：橋本啓介

テレビ会議・ウェブ会議・電話会議システム専門 定期レポート

Vol. 13 No.16 2011年8月31日号

編集:editor@cnar.jp 広告:pr@cnar.jp 読者登録:<http://cnar.jp>

Copyright 2011 CNA Report Japan. All rights reserved.

製品・サービス動向-国内

福岡の建築内装業者 デザイン見聞録、建設業界向けオンラインビデオ会議サービスを開始

有限会社デザイン見聞録(福岡県糟屋郡)は、インターネットとPCがあれば簡単にビデオ会議が行える、定額制オンラインビデオ会議サービス「BOXMEETING(ボックスミーティング)」を発表した。(7月15日)

デザイン見聞録は、福岡で建築内装業、おもに店舗内装を手がける会社。本社は福岡にまた関西営業所が京都にあり、九州一円と京阪奈一帯を中心に事業を展開している。昨今のITの普及を背景に、福岡のIT産業活性化に着目し、社内にITサービス事業部を新規立ち上げた。おもに建設業向けのITソリューションの開発に乗り出す。今回発表されたBOXMEETINGは、「建設業 x IT」ツール第一弾という。

そもそもデザイン見聞録が、ITに着目したきっかけとなったのは、IT活用の高度化と地域の活性化を目的とした特定非営利活動法人AIP(福岡市博多区)での異業種交流会という。

デザイン見聞録社長の細川文太氏は、日々ヘルメットをかぶり内装工事で現場の進捗管理の他、設計業者、オーナーとの進捗報告会議などで多忙を極める人だが、工事にかかわる関係者間が地理的に分散していたり、また、意思疎通の難しさを感じたりすることが多々あったという。

そういった折りにAIPの異業種交流会に参加。フリープログラマーの迫田孝太氏(現 グルー株式会社 代表)と出会う機会があり、同氏との意見交換を通してITの現状を詳しく知るにつけ、日々の業務の効率化や生産性の向上にITが活用できるのではないかという可能性を強く感じたという。

そこで、迫田孝太氏と建設業界向けのITサービスを検討。企画・開発を細川文太氏が担当し、迫田孝太氏がプログラム開発を行うというコラボレーションの結果、今回のBOXMEETINGが生み出された。

「日々実感していることだが、内装工事の進捗管理はとでも大変だ。それも関係者が、現場は福岡で設計は東京など地理的に離れているとなおさら。日々の現場での仕事からこういった現場と事務所をつなぐ“打合せシステム”みたいなものが欲しいと思っていた。また、建設業界を見渡しても、当社のように本社と営業所などの事務所が分散していることも最近ではめずらしくなく、コーワーキングという働き方も定着してきているのが現状だ。そこでPCに弱い人でも現場や事務所あるいは出張先で、低コストで簡単に打合せや会議ができればと思いが募り、今回BOXMEETINGを提供開始するに至った。このサービスで既存のミーティングの考え方を変えたいと思っている。」(デザイン見聞録 細川文太氏)

BOXMEETINGは、Flashに対応しているため、インターネット環境と、パソコン(Windows、Mac、Linux)、Webカメラ、ヘッドセット(もしくは、スピーカーマイク)があれば、専用のソフトウェアをインストールすることなく会議がすぐに行える。

PCに不得手な人が使うことを想定しているため、提供している機能は、10人まで参加可能なテレビ会議とテキストチャットに絞った。参加者を表示するウィンドウ画面(BOXMEETINGでは、“ボックス”と呼ぶ)は、それぞれの顔が見えやすいように配列。テキストチャットは、会議中のチャットを保存することが可能なため、簡易な議事録としても活用でき、その場で参加者へメール送信が行えるようにした。

一方、契約してから会議開催時の手順も極力簡単にした。利用契約を行うと、契約者に対してユーザ専用の会議室が設置され、その会議室へのアクセスを行うためのURLとパスワードが割り当てられる。それらは契約申込後、2営業日で会議主催者に発行される。

ただし、パスワードを入力して会議室に入るという手順は、会議主催者だけに限定し、それ以外の参加者は、URL で簡単に入れるような仕組みにした。



BOXMEETING 会議室（デザイン見聞録資料）



BOXMEETING 準備画面（デザイン見聞録資料）

「BOXMEETING では、機能などを絞るだけ絞り、シンプルにした。それは、ビデオチャットへの敷居を可能な限り下げたためだ。」(同 細川 文太 氏)

しかし、同社では、セキュリティやデータ共有、あるいは、他のサービスとの連携など要望もあるだろうと見ている。「そういったニーズに対しては、別途カスタマイズという形で対応していく考えだ。」(同 細川 文太 氏)

今回 BOXMEETING で福岡の細川 文太 氏と、船橋市にある CNA レポート・ジャパンの事務所をむすんで取材をさせていただいたが、同サービスを拝見していて、ひとつ興味深いと思ったのは、会議室に入る前に、「BOXMEETING 準備画面」という“控え室”的なところに一旦参加者が入るとい

のだ。

通常、テレビ会議では、参加者が皆カメラの前に座る。そのため自分の顔がどのように相手に見えているとか、髪型は大丈夫か、服装はどうかなどが気になるのが普通だ。この BOXMEETING 準備画面は、会議室の URL を参加者がクリックするとまず表示される画面で、“本”会議室に入る前に、カメラに映る自身の身だしなみを整えるところだ。一見気が付かないが心憎い機能だと思える。

そして、身だしなみに問題ないと参加者が思えば、そこで初めてその画面にある「配信開始」ボタンを押す。そうすると“本”会議室に入り、自身の映像が他の参加者に配信される仕組みになっている。加えて、会議中もこの画面は、ブラウザの別タブで保持されるようになっている。反対に、打合せが終わった時に、この BOXMEETING 準備画面のあるタブに戻ってきて「配信停止」ボタンを押すと自身の映像配信が停止されるようになっている。

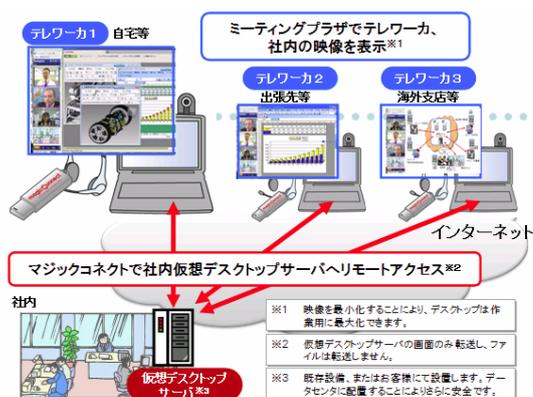
BOXMEETING サービス提供にあたっては、ボックス数（参加人数）で「3 人まで対応」（9,980 円/月）、「5 人まで対応」（19,980 円/月）、「10 人まで対応」（別途見積）の 3 種類を提供する。ただし、チャットについては、5 人まで対応と 10 人まで対応において提供される。利用申込は、BOXMEETING ウェブサイトから行える。

同社 細川 文太 氏によると、今後の展開としては、スマートフォンや建設業界以外の業界への IT サービス開発などを行っていく予定という。と同時に、代理店の開拓も進めていく。なお、BOXMEETING についての情報は、専用 Web サイト以外にも Facebook においても情報提供を行っている。

NTT アイティ、テレワーカーの疎外感を低減し、勤怠管理ができるテレワークサービス開始

NTT アイティ株式会社（横浜市中区）は、テレワーカーの疎外感を低減し、勤怠管理ができるテレワークサービス「スマートテレワーク HP(ハイプレゼンス)サービス」を 7 月 12 日より開始した。（7 月 11 日）

スマートテレワークHPサービスは、Webブラウザで会議を行う MeetingPlaza サービスと、社外から社内の自席 PC やサーバーに安全にリモートアクセスするマジックコネクトサービスを組み合わせて提供するもの。



スマートテレワーク HP サービス (NTT アイティ資料)

テレワーカーは、MeetingPlaza サーバーへ接続して、テレワーカーとオフィスの映像を常時共有することで業務への参加意識向上やコミュニケーション(Web 会議による打合せやチャットも含む)の確保、そして勤怠管理が行える。また、マジックコネクトにより、自宅等の PC から仮想デスクトップサーバーにマジックコネクトで安全に接続して PC デスクトップ業務を行えるため、接続ログによる時間管理や、業務ファイル確認によるテレワーカーの生産性管理が可能だ。

さらには、全員がテレワーカーの場合、スマートテレワーク HP サービスを使うことで、ネット上の仮想企業(バーチャルカンパニー)を構成することも可能という。

スマートテレワーク HP サービスの販売は、テレワーカー5人以上から。5人の時の初期費用は 105,000 円～。また年間使用料は、590,000 円～。費用については詳細確認要。9月30日まで発売を記念した初期費用半額キャンペーンを実施。販売開始は、7月12日から。販売目標は、年間 1,000 アカウント。

エフ・シー・エスの Web 会議新バージョンリリース、ユーザの使い勝手向上

株式会社エフ・シー・エス(東京都港区)は、同社の Web 会議「Flexible Cost Saver(フレキシブルコストセイバー)」の新

バージョンを7月7日より提供開始した。(7月7日)

エフ・シー・エスでは、今回使い勝手の向上を目的としたバージョンアップを行った。ユーザや会議の検索、ログインページ、トップページの画像、メッセージなどがカスタマイズ可能になった。表示項目の変更は、ヘッダの画像/URL リンク、ログイン画面の画像、トップ画面の画像、表示メッセージとなっている。

エフ・シー・エスは、独立系 Sier. Flexible Cost Saver は、2007 年の発売以来、自社サーバ型(買取、レンタル)とクラウド型を提供。導入の形態にあわせたサービスを提供している。

FCS 関連記事:2010 年 5 月 30 日号など。

VQS マーケティングの Web 会議システムバージョンアップ、エコーキャンセル、ダイレクト変換、配信機能など強化

VQS マーケティング株式会社(京都市南区)は、同社の Web 会議・遠隔授業システムのクライアントソフトを7月22日にバージョンアップした。(7月26日)

今回発表されたのは、会議に最適化された「VQS コラボ Version 3」と、教育などでの活用を想定した「VQS コラボ V3 for Learning」。同社では、通常版とクイックスタート版を提供しているが、この VQS コラボの特長は、FM 放送や CD に匹敵する音質、特許を取得している、デジタルペン対応のホワイトボード、用途帯域に合わせた会議室、低帯域に対応した通信帯域制御などの特長がある。

今回のバージョンアップされた機能は、下記のとおり。

(1) 音響エコーキャンセル機能を追加。
 (2) ホワイトボード資料操作性向上。Office 文書 Jpeg 形式へダイレクト変換。従来個別に操作する必要があったデータ形式変換、リサイズ、アップロードを資料アップロードツールの操作だけで実現できるようになった。また、手書きデジタルペン「MVPen EN301i」に対応。

(3) ビデオ・音声配信機能。音声ファイル(WAV、MP3、WMA)配信に対応。ビデオ・音声配信時に、一時停止機能やビデオ・音声ファイルの個別指定に対応。

(4)Windows XP においてマイクデバイスのステレオミキサーを自動ミュート。

(5)フルスクリーン機能において、画面全体が小さく表示されるパソコンへの対応。

VQS マーケティングは、株式会社オサムインビジョンテクノロジー(京都市中京区)と株式会社ヒューイットの共同出資により Web会議システム VQS コラボおよび関連機材の販売、サポートを主な業務として 2011 年 1 月に設立された企業。

ルーシッド無料電話会議サービス、有料オプションとして会議予約と会議録音を追加

ルーシッド株式会社(東京都渋谷区)は、同社の無料電話会議サービス「BizSpeak(ビズスピーク)」において、「予約オプション」と「会議録音オプション」の提供を開始したと発表。(7月7日)

予約オプションは、ユーザの指定日時に予約専用の回線を用意する予約電話会議サービス。確実に決められた時間に会議回線を確認しておきたいユーザに最適と社では説明する。1会議あたり最大 6 時間まで予約することができる。利用料金は、1会議予約あたり 1,050 円。

毎週1回、5 拠点を結んで 2 時間の電話会議を実施した場合、1ヶ月の利用料金は、4,200 円(週1回 x 4)。通話料は、各参加者の負担。それ以外の費用はかからない。

一方、会議録音オプションは、予約オプションで電話会議サービスを利用するユーザを対象に提供されるもの。最大 6 時間まで録音が可能。録音の制御は、Web 管理画面(カンファレンスマネージャー)で行う。録音された会議は、mp3 ファイルに保存され、Web 管理画面からダウンロードできる。ただし、BizSpeak での保管は、1週間となっているという。

料金は、予約オプションによる電話会議1回につき、2,100 円。毎週1回、5 拠点を結んで 2 時間の電話会議を実施した場合、12,600 円/月となる。1回の会議あたり、3,150 円(予約オプション 1,050 円と会議録音オプション 2,100 円)となる。

NTT 東日本と NTT アイティ、テレビ電話を使ったクラウド型遠隔健康相談サービスを発表

NTT 東日本株式会社(東京都新宿区)は、NTT アイティ株式会社(横浜市中区)と連携し、クラウド型遠隔健康相談サービス「ひかり健康相談」を 9 月 1 日から提供開始する。(7月12日)



サービスイメージ (NTT 東日本 資料)

NTT 東日本では、平成 21 年 2 月より「遠隔健康相談システム」の提供を行ってきたが、この度「フレッツ光ネクスト」、「ひかり電話」、「フレッツフォン」と、NTT アイティが提供する「健康相談」のクラウドサービスを活用して、自治体や医療機関向けにひかり健康相談を開始する。

このサービスでは、血圧計や歩数計などで測定したデータを、テレビ電話端末フレッツフォンを介して管理側のサーバーに自動で登録し、グラフ化された健康情報を基に、テレビ電話による遠隔からの健康アドバイスや特定保険指導を行える。

NTT 西日本と NTT スマートコネク、テレビ電話を使ったクラウド型遠隔健康相談サービスを発表

NTT 西日本株式会社(大阪府大阪市)は、NTT スマートコネク株式会社(大阪府大阪市)と連携し、クラウド型遠隔健康相談サービス「Biz ひかりクラウドコミュニティ 遠隔健康相談」を 7 月 12 日に発表。9 月 1 日よりサービス提供開始する。(7月12日)

NTT 西日本は、「フレッツ光ネクスト」、「ひかり電話」、

「フレッツフォン」を活用した Biz ひかりクラウドコミュニティー遠隔健康相談を開始する。

本サービスでは、地域住民等の血圧計や歩数計などで測定したデータを、フレッツフォンを介してサーバーに自動で登録し、登録されたデータを元にグラフ化する。健康管理士や保健師は、グラフ化された健康情報を基に、テレビ電話を使い、遠隔から地域住民や患者等相手の顔を見ながら健康アドバイスを行うことができる。

ビジネス動向-国内

プレミアムコンファレンシングとブイキューブ、ビジネス提携を発表

プレミアムコンファレンシング株式会社(東京都中央区、米PGi グループ日本法人)と株式会社ブイキューブ(東京都目黒区)は、相互の技術協力および新製品の開発・販売チャネルの拡充などを目的としたビジネス提携を行ったと発表。両社は記者向けの発表会を開催。(7月13日)



ブイキューブ社長 間下 直晃氏(左)とプレミアムコンファレンシング副社長 宮地 孝幸氏

今回のビジネス提携によって、PGiは、ブイキューブの製品を日本と中国を中心としたアジア市場で販売するとともに、PGiの音声会議サービス(ReadyConference、GlobalMeet)とブイキューブのWeb会議(V-CUBE ミーティング、ペーパーレス)製品を8月から年末にかけて段階的に統合することで、ブイキューブWeb会議の音声機能を拡張し、幅広い音声オプションを揃える。

Web会議の音声機能を拡張する理由は、ここ数年の急激な需要の増加だとブイキューブは説明する。音声の部分は、VoIPと東京03へのダイヤルインを提供してきたが、あらゆる利用環境に対応する上で、電話会議サービス並の国内・海外アクセスポイント、Web会議室から参加者へ電話する機能、音声とWeb会議の統合機能(Web会議から電話会議の制御)への必要性が高まったという。

なお、アクセスポイント数については、日本国内では、13都市、また海外では、45カ国66都市(上記国内含む)のローカルアクセス番号、59カ国の国際フリーダイヤルアクセス番号に対応する。ダイヤルアウト(コールミーバック)については、233カ国をカバー可能。

音声拡張が実現すると、ブイキューブのWeb会議ユーザは、国内外のPGiのアクセスポイント(ローカルアクセス、フリーダイヤル)を活用することで、PGiの電話会議サービスのダイヤルインとダイヤルアウトに対応する。一方で、Web会議の操作画面においては、電話会議の音声コントロール(ミュート、会議室ロックなど)の他、電話会議参加者の表示も行えるようになる。さらに、最終段階では、VoIPと一般電話の混在の会議に対応する。

今回音声拡張に踏み切った理由として、ユーザのWeb会議利用環境によっては、VoIPの限界があり、代わりに一般電話回線の提供も必要とされる場合があるためとブイキューブは説明する。そこで、今回電話会議サービスの日本国内市場において3年連続シェア1位(シード・プランニング統計)のPGiと手を組むことにした。PGiは、世界24カ国で展開しフォーチュン100社の75%を含む30,000社の企業で活用されている。

一方、PGiとしても提携するメリットがあると判断した。長年主力の電話会議に加えWeb会議サービスを再販してきた経験と実績があるということと、日本国内での4年連続Web会議市場シェア1位(シード・プランニング統計)の市場でのブイキューブの競争力から今回提携することにした。

HATS 推進会議、HD 対応テレビ会議 SIP 相互接続検証を目的とした HDTV 会議 SWG を設置

HATS 推進会議の「マルチメディア通信相互接続試験実施連絡会」では、連絡会の下に「HDTV 会議 SWG」を設置すると発表した。(7月28日)

HDTV 会議 SWG 設置は、SIP 対応機器間の相互接続検証を目的としている。近年のテレビ会議システムの利用拡大とそれともなう HDTV 対応テレビ会議製品は増加している。しかし、現状では、特に SIP に対応した製品において、IETF 標準に対する解釈の違い、実装方法の差異があるために、異なるメーカーの端末間では相互に接続できないなどがあった。

今回この HDTV 会議 SWG を設置することで、ユーザーに対しては、機材採用の自由度と利便性を高め、メーカーに対しては、市場発展の機会を創出することが可能になるという。

SWG 参加対象は、テレビ電話、テレビ会議端末メーカーおよびシステムインテグレーター、通信事業者などとなっている。

参加企業間では、HD に対応したテレビ電話やテレビ会議端末間の相互接続検証と、HD に対応したテレビ電話やテレビ会議端末と多地点接続装置(MCU)、ゲートウェイ装置等インフラシステムとの相互接続検証を実施する予定。

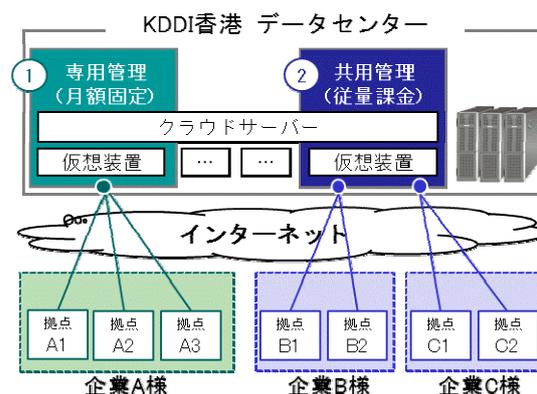
そのための進め方としては、現在の実装仕様の差分や技術課題を収集し、その上で、相互接続試験実施要領書を作成。そして、相互接続試験を実施し、試験結果を各社等へフィードバックする。

HATS(高度通信システム相互接続)推進会議の議長は、東京大学名誉教授 齋藤 忠夫 氏。マルチメディア通信相互接続試験実施連絡会の主査は、ソニー株式会社 外村昌司 氏。HDTV 会議 SWG の主査は、日本電信電話株式会社 妙澤 裕尚 氏。事務局は、一般社団法人 情報通信ネットワーク産業協会(CIAJ)。問い合わせ先、CIAJ マルチメディアソリューション部。

製品・サービス動向-海外

KDDI 香港とパイオニアソリューションズ、クラウド型ヴィジュアルコミュニケーションサービスを開始

KDDI 株式会社の香港現地法人 KDDI 香港は、クラウド型ヴィジュアルコミュニケーションサービス「ビジネスカンファレンス(BUSINESS KUNGFURENCE)」の提供を開始する。提供開始は、8月9日から。(8月8日)



サービス提供システムイメージ (KDDI 香港 資料)

KDDI 香港は、データ会議システムの開発と販売実績のあるパイオニアソリューションズ株式会社(神奈川県川崎市)とパートナーシップを結び、パイオニアソリューションズのデータ会議ソフトウェア「CCS-Prime 技術」と、KDDI 香港データセンター管理・運用ノウハウとトータル ICT サービス提供実績を生かしたクラウドサービスを提供する。

KDDI 香港によると、今回クラウドサービスを開始する理由として、ITC サービスを提供している中で、遠隔地と安価で効果的にコミュニケーションをとりたいという要望が増えてきているからだという。

ビジネスカンファレンスでは、ユーザーは、Windows PC、ウェブカメラ、スピーカーマイク(またはヘッドセット)を用いて、資料、音声、映像を共有した双方向会議を行うことができる。

利用開始は、申込から1週間程度。各拠点でサービスログイン時に必要となる識別単位となる ID を発行する。要望に応じて期間限定の試用 ID も発行する。

サービス料金は、「月額固定制」、「従量課金制」の2種

類を用意する。月額固定では、顧客毎に1つの仮想サーバーを割り当てる。初期費用(初回のみ)は、1,000 香港ドル/1 ポート。月額費用は、2,300 香港ドル/1 ポート/毎月。なお、ポートとは、最大同時接続可能を表す単位。

一方、従量課金では、複数の顧客企業でひとつの仮想サーバーを共用する形。年間費用 2,000/10 ID /毎年。月額費用:10 香港ドル/1 ID /毎分。

KDDI 香港は、主に香港特別行政区の日系、地場、外資系企業向けに国際ネットワーク、データセンター、エンジニアリングソリューションなどのトータル ICT サービスを提供している。

ポリコム社、UC ソリューションの機能強化と新製品を発表

米ポリコムは、ユニファイドコミュニケーションに関連した複数のソリューションを発表した。(日本語抄訳発表日:7月8日、7月11日、7月25日)

発表されたソリューションは以下通り。機能強化が中心。

(1)「Polycom UC Intelligent Core」の新しいソフトウェアリリース。新しいリリースによって、最大 7,500 台のデバイスと 25,000 件の同時通話が可能になった。これは、類似の競合ソリューションがサポートするキャパシティの 5 倍以上に相当するという。加えて、100%の自動フェイルオーバーを備えた点も特長のひとつ。

ユニバーサルブリッジという考えから、H.323、TIP、SIP、POTS/ISDN、RTV といったプロトコルから、ファイアウォールトラバース技術などによって、マイクロソフト、アバシア、シスコ、IBM など異なるベンダー製品間のビデオ会議の運用に対応する。またこれに関連してグローバル サービス プロバイダー「OVCC」が 14 社で既に設立されている。

販売開始は、第三四半期を予定。販売パートナーが導入にあたってグローバルプロフェッショナルサービスを提供する。

(2)「Polycom Video Content Management(VCM)」の機能強化。新バージョンは、「Accordent Media Management

System (AMMS) v4.5」と「Accordent Capture Station v5.1」。

Accordent Media Management System (AMMS) v4.5 では、「Polycom RSS 4000」で録画したセッションを、事前に設定したコンテンツカテゴリーに自動的に取り込めるようにしたり、ライブストリーミングを自動的に検索表示できるようにした。さらには、ポータル上で「Upcoming Event(次のイベント)」として表示することも可能になった。

一方 Accordent Capture Station v5.1 では、「iPad」、「iPhone」へのライブおよびオンデマンド配信が可能になったとともに、「Microsoft Expression Encoder」、「Microsoft Smooth Streaming」を新たに対応。その他、H.264 エンコーディングも対応(対応 Edition 詳細確認要)。

(3)「Polycom SoundStructure VoIP Interface」。このインターフェイスは、SIP テレフォニー機能を SoundStructure シリーズに追加するモジュール型インターフェイス。回線交換方式から VoIP への移行が可能になるとともに、AMX や Crestron に対応。14kHz 音声帯域もサポートする。

(4)「Polycom OTX 100 & OTX Compact」の発表。「Polycom OTX 300」のパフォーマンスを踏襲し、1 台のスクリーンでイマーシブテレプレゼンスを実現するソリューション。コンパクトなパッケージで小規模会議室やオフィスでの活用に適する。H.264 ハイプロファイルや POCN ベンダー機器との高い相互運用性の他、シスコの CTS システムとの相互運用もサポートされている。

販売開始は、今年の 10 月を予定。

(5)「Polycom CX7000」は、「Microsoft Lync」に最適化された Polycom CX シリーズ ビデオ会議システム。Lync の全機能(プレゼンス、IM、オンライン会議、コンテンツ共有)を行うことができる。英語スペックシート(8月31日現在)によると、コーデックは、RTVideo のみ対応している。

なお、現在ポリコムは、Lync を介して提供するマイクロソフトのクラウドサービス「Office 365」と相互運用できるように取り組んでいるという。

ライフサイズ社、インフラ装置の機能追加

ロジテック社のビデオ会議部門米ライフサイズ社は、同社のインフラ装置の機能追加を行った。(7月12日)

今回機能追加をおこなったのは、「LifeSize Transit」、「LifeSize Bridge」、「LifeSize Control」の製品。

LifeSize Transit サーバーは、SIP/H.323 ファイアーウォール NAT トラバーサルソリューションだが、今回の機能追加でVMWare オプションに対応した。

多地点機能を提供するLifeSize Bridgeについては、ひとつの多地点ビデオ会議セッションで、最大48人まで参加した会議が行えるようになった他、LifeSize Bridge 1.1では、10の機能向上などを行っている。

運用管理システムであるLifeSize Control 5.5は、「LifeSize Desktop」やビデオ会議端末向けに「自動LifeSize Transit アカウントプロビジョニング」に対応した。

プレスリリースによる北米参考価格は以下の通り。

LifeSize Bridge 1.1が、64,999米ドル(MSRP)。48ポート多地点機能ライセンスが、14,999米ドル(MSRP)。

Transit Virtual Machine Software:「Transit Server Virtual Machine Software」は、12,999米ドル(MSRP)、「Transit Client Virtual Machine Software」は、9,999米ドル(MSRP)。

Transit Hardware Appliance:「Transit Server」が14,999米ドル(MSRP)、「Transit Client」は、11,999米ドル(MSRP)。

LifeSize Control 5.5の販売は、2011年第3四半期(暦月)から。北米参考価格は、1シートあたり249ドル(50シート以上から)。

ライフサイズ社の日本法人は、株式会社ロジテック(東京都港区)内。日本国内における総販売代理店は、株式会社日立ハイテクノロジーズ(東京都港区)。

Glowpoint社、ポリコム社のUCをベースとしたクラウド型ビデオ会議マネージドサービスの提供を発表

ビデオ会議向けマネージドサービスを提供する米Glowpoint社は、ポリコム社のユニファイドコミュニケーション

技術をベースとしたクラウド型ビデオ会議マネージドサービスを提供する。(7月19日)

マネージドサービスでは、ポリコム社のユニファイドコミュニケーションソリューションや顧客企業内に設置された(オンプレミス)ビデオ会議インフラ装置の運営管理の他、ホスティングサービスも提供する。

その中には、顧客のビデオ会議端末とインフラ装置の24時間監視、ヘルプデスク、コンシアージュサポート、ソフトウェアアップグレード、予約サービス、会議録画などのサービスが含まれる。

ビデオ会議のマネージドサービスへの需要は増えているという。Glowpoint社は、プレスリリース内で米Wainhouse Research社の統計を引用する。74%のユーザがマネージドサービスに関心があるという。

Glowpoint社は、ポリコム社が設立した通信事業者やサービスプロバイダーからなる「OVCC(Open Visual Communications Consortium)」の設立メンバーとなっている。

Logicalis社、クラウド型ビデオ会議サービスを開始

英Logicalis社は、クラウド型ビデオ会議サービス「ImmersiV」のサービス(Video as-a-Service)開始を発表した。(7月5日)

Logicalis社は、シスコシステムズ/タンバーク インフラシステムを活用し、クラウドサービスを構築。利用に応じた課金(consumption based model)でサービスを提供する。

デスクトップから、ビデオ会議専用端末、テレプレゼンスシステムと幅広く端末をサポートする。デスクトップには、タンバーク「Movi」に対応する。

サービスは、「ImmersiV」、「ImmersiV VtoV」、「ImmersiV Managed Video Network」、「ImmersiV VideoPA」など。多地点接続、ホスティング、外部(社外、取引先)へのブリッジング(VtoV)、QoE(クオリティ・オブ・エクスペリエンス)保証、トータルサポートなど要望に応じて提供する。

Logicalis 社は、Logicalis グループとして英に本社をおき世界に展開する IT ソリューション&マネージドサービスプロバイダー。世界に 2500 名の社員を擁す。シスコ、HP、IBM、マイクロソフトなどとパートナーシップを持つ。今年 1 月、ユニファイドコミュニケーションソリューションの強化の一貫として、タンバークブラチナーパートナー英 Direct Visual 社を買収している。

ビジネス動向-海外

ロジテック社、イタリアの Mirial 社を買収、タブレットやスマートフォンテレビ会議の強化

ロジテック社(Logitech、日本法人:株式会社ロジテック、テレビ会議部門:ライフサイズ)は、イタリアのテレビ会議メーカーMirial 社(ミリアル)の買収を発表した。(7 月 20 日)

Mirial 社は、タブレットやスマートフォン向けのテレビ会議ソリューションを提供する。イタリア ミラノに本社がある。今回の買収によって、ロジテック社は、Mirial 社の製品をライフサイズテレビ会議製品群に加え、会議室向けからスマートフォン、また MCU などのインフラ装置まで包括的(エンドツーエンド)にテレビ会議ソリューションを提供することが可能になる。

Mirial 社は、iOS やアンドロイドをサポートしている「iPhone 4」、「3GS」、「iPad2」、「HTC EVO」、「Desire」、「Incredible」、「myTouch 4G」、「Sensation」、「ThunderBolt」、「Motorola Atrix」、「Xoom」、「amsung Epic 4G」、「Galaxy S」、「Galaxy Tab」、「Google Nexus S」、「Dell Streak」でのテレビ会議を実現しており、既存のテレビ会議システムとの通信が可能となっている。

Mirial 社は、ライフサイズ事業部門に所属することになり、製品自体もライフサイズ製品との統合が行われる。そのため Mirial 製品は、ライフサイズを通して販売される。

導入・利用動向-国内

九電工、ガバナンス強化や意思決定の迅速化を目指し日立の「Woolive」を主要全拠点に導入

総合設備企業として幅広い事業を展開する株式会社九電工(福岡市南区)は、経営理念や方針を組織の隅々まで浸透させ、経営におけるガバナンス強化や意思決定の迅速化を図るため、テレビ会議システムを導入した。

同社では、IT の活用は、合理化や省力化の追求だけでは不十分と考えており、経営をサポートする IT の実現を重点課題として掲げている。その取り組みの一環としてテレビ会議が今回導入されたが、そもそものきっかけは、経営トップからの強い要望だった。

同社の事業展開は、九州を基盤として首都圏や関西圏、沖縄地区など広範囲におよぶ。しかしこれまでは、各拠点では、本社から送られてきたビデオを観たり、メッセージを代読したりするなど、情報伝達のタイムラグが生じたり、細かなニュアンスを伝える難しさがあった。

そういった中で、昨今テレビ会議は、ネットワーク環境や動画の配信技術など大きく進歩してきた。そこで、同社では経営トップの期待に応えられるシステムを実現できると考え導入に向けて検討に入った。

テレビ会議システムの検討にあたっては、まずは画質の良さを重視。経営トップのメッセージを細かなニュアンスを含め忠実に伝えるためだ。加えて、営業所には、パソコンをテレビ会議端末として利用するケースを想定するとともに、本社以外の遠隔地の拠点にも導入するためサポートの充実度も重視した。

そういった社内の要望を踏まえ、デモなどを参考に複数の製品を比較・検討した結果、株式会社日立製作所(東京都千代田区)テレビ会議システム「Woolive(ウーライブ)」を採用した。

Woolive のシステム構築からサポート提供は、九州日立電子サービス株式会社(福岡市博多区)が全面的に支援。九電工では、日頃から九州日立電子サービスのサポートを受けており、今回の導入においても同社の対応とサービス

品質を高く評価したという。

Woolive は、現在福岡にある本社と東京本社の他、全支店に設置されている。本社役員会議室には、専用機タイプを設置。会議室の大きさを考慮し、複数台のモニターやカメラを天井から吊したりして、会議室の映像に死角が出来ないように工夫をした。

また、会議室内環境に合わせて、カメラや機材を設置する棚などを特別に制作したり、機材一式をキャスター付き専用台に載せて会議室間の持ち運びをスムーズにできるようにもした。その他、IT 機器に不慣れなユーザでもリモコンを利用して簡単にカメラなどを簡単に切り替えることができるようにした。



本社役員会議室に設置された専用機端末(日立製作所 資料)



会議室の大きさを考慮しモニターやカメラを複数設置(日立製作所 資料)



天井から吊した片方のモニターには、モニターと一体になったカメラ台座をオリジナルで製作(日立製作所 資料)

同社では現在、本社と東京本社をインターネット VPN 回線で結び週 1 回のペースで行われる経営会議や、各支店の営業部門や技術部門を結んで行われる社内の各種会議に、テレビ会議が活用されている他、2011 年の経営トップによる年頭の挨拶では、本社から主要全拠点に向けて Woolive でライブ配信を行ったりもしている。

実際に使い始めて、主要全拠点でテレビ会議によって情報を共有し、重要な意思決定をよりタイムリーに行うことが可能になったとともに、会議には会議室から参加できるため、会議のたびにオフィスを空けて出張する必要がなくなったという。

今後は、会議にこだわらない活用を推進していく考え。本社や支店以外の営業所や工事現場など全拠点への活用を広げ、ひとつには、若手社員をはじめ現場の社員をサポートするツールとして活用していくことを検討している。

これらテレビ会議の活用は、意思決定の迅速化や社内コミュニケーションの活性化をもたらすだけでなく、お客様へのサービス品質の向上にも寄与すると同社では期待する。

株式会社 九電工 <http://www.kyudenko.co.jp/>

日本メナード化粧品、ブイキューブの Web 会議システムとペーパーレス連携を採用、記者発表会での活用

株式会社ブイキューブ(東京都目黒区)の発表によると、日本メナード化粧品株式会社(名古屋市中区)は、ASP 型 Web 会議システム「V-CUBE ミーティング」およびオプション製品「ペーパーレス連携(V-CUBE ペーパーレス)」を採用した。(7月28日)

化粧品・健康食品・インナーウェアの研究開発・製造販売やリゾート、美術館、エステティックサロンの運営など、多角的に商品・サービスを展開する日本メナード化粧品は、6月21日に、新しい美容液「プログラム 30」を発表。PRをする際に、記者により深く、効果的に商品を理解してもらうために新商品発表会にて iPad を利用したいという考えを持つ

ていた。

そこでプレス向けの新商品発表会も従来の大会場で大人数に対して行う形式ではなく、少人数の記者を対象に iPad を使って説明する新しいスタイルの発表会を企画。iPad 上でプレゼンを行うための方法として、日本メナード化粧品は、V-CUBE ミーティングを採用した。

ブイキューブにとっては、このような日本メナード化粧品における導入事例は、モバイルタブレットを利用した新商品発表会という新たなシーンでのコミュニケーションにも活用できることを示す事例という。事例の詳細については、ブイキューブウェブサイトに掲載されている。

日本メナード化粧品株式会社 <http://www.menard.co.jp/>

イベント活用-国内

SOBA プロジェクトの Web 会議システム、羽田空港のイベント中継に採用

株式会社 SOBA プロジェクト(京都市下京区)が開発・販売する Web 会議・中継システム「SOBA mieruka(ソーバ・ミエルカ)が、羽田空港のイベントで採用された。(7月29日)

7月30日(金)から8月5日(金)まで羽田空港で開催された東日本大震災復興イベント「はねだ夏まつり(主催: AIRPORT ACTION はねだ実行委員会)」のイベントプログラム「アクアマリンふくしまのなかまたち」に採用された。

はねだ夏まつりでは、東北各県および日本各地の文化や自然を紹介するプログラムが開催されたり、環境水族館のバーチャル展示やシーラカンス展示、または、震災の被害の実態や復興の動きなどを紹介したりするさまざまなコーナーが設置された。

その中で、「アクアマリンふくしまのなかまたち」コーナーは、環境水族館「アクアマリンふくしま」(福島県いわき市)をバーチャルに体感してもらうコーナーで、水槽で泳ぐ生物を映像で再現したり、また一部ライブ映像配信を行い、そこで SOBA mieruka は、環境水族館の水槽の様子を生中継するシステムとして使用された。



水族館バーチャル展示のイメージ (SOBA プロジェクト 資料)



システムイメージ (SOBA プロジェクト 資料)

SOBAmieruka は、パソコンとインターネット環境があればアプリケーション共有も可能な P2P 型 Web 会議システム。DV カメラを接続すれば 4Mbps を越える高精細・高解像度映像の送受信も可能で、音声遅延も少ないという。今回のイベントの他、サーキット中継など大規模イベントでの映像配信での実績も多数あるという。

セミナー・展示会情報

<国内>

「テレビ会議システム導入支援ミニセミナー」

日時:9月2日(金)15:15~16:00

※15:00 受付開始。

※導入検討ユーザ企業対象。

会場:下記企業に確認要。

主催:コクヨ S&T 株式会社

問い合わせ・申込:news "at" meetima.net

*上記メールアドレスの"at"の部分をも"@"に差し替えて送信してください。*申込時:会社名、お名前(代表者)、ご参加予定人数(代表者含む)、部署名、役職、電話番号、メールアドレス、希望参加日を明記。

課題を解決！**企業力を高めるこれからのテレビ会議の使い方**

日時:9月2日(金)15:00~17:30 (受付:14:30~)

会場:ポリコムジャパン(東京都千代田区)

主催:株式会社大塚商会

協力:ポリコムジャパン株式会社

詳細・申込:<http://event.otsuka-shokai.co.jp/11/0902ict/>**会議の効率化を実現！『ConforMeeting 無料体験セミナー』****定期開催**

日程:9月7日(水)、14日(水)、21日(水)、28日(水)

※全ての日程で13:30~14:30、15:30~16:30の2回開催

会場:NEC 情報システムズ 本社(東京都港区)

主催:日本電気株式会社、株式会社 NEC 情報システムズ

詳細・申込:

<http://www.nec-nis.co.jp/topics/event/conformeeeting/seminar.html>**パイオニア遠隔会議 導入支援セミナー**

「節電！だからこそ、今 必要な業務改善とは」

日時:9月7日(水) 15:30-17:00 (15:15 受付開始)

会場:ベルサール西新宿 (東京都新宿区)

主催:パイオニアソリューションズ株式会社

詳細・申込:<http://pioneer.jp/ccs/new/index2.html>**RADVISION セールスセミナー**

日時:9月9日(金) 午前:10:00-13:00/

午後:15:00-18:00

会場:アイオス五反田駅前ビル 3階セミナー会場

(東京都品川区)

主催:RADVISION ジャパン株式会社

詳細・申込:

<http://www.radvision.jp/contents/event/201108/radvision-2.html>**【無料体験セミナー】ペーパーレス研修・会議ソリューションのご紹介**

日時:9月9日(水)13:30 ~ 15:30(受付13:00~)

会場:システム・テクノロジー・アイ

Ginza Learning Center(東京都中央区)

主催:株式会社システム・テクノロジー・アイ

詳細・申込:

<http://www.systech-i.co.jp/www/cms/topics/news110627.html>**事業継続の切り札！在宅勤務でこれだけ可能**

-- WebEx Connect、WebEx で簡単テレワーク --

日時:9月13日(火) 14:00-15:00

会場:WebEx オンラインセミナー

主催:シスコシステムズ合同会社

コラボレーションソフトウェアグループ

詳細・申込:

<https://jpevents.webex.com/jpevents/onstage/g.php?t=a&d=867870382&SourceId=m1>**< 海外 >****CENCE 中国企業ネットワーク通信大会暨展**

日時:9月21日-22日

会場:中国 上海市 上海展覽中心

主催:全球IP通信連盟

詳細・申込:<http://cence.d1net.com/>

*企業通信、UC、クラウド関連。ビデオ会議もあり。

7th Annual Real-Time Communications Conference and Expo

日時:10月4日-6日 8:00-17:00

会場:米国イリノイ州 Illinois Institute of Technology

主催:Illinois Institute of Technology

詳細・申込:

<http://www.cvent.com/events/7th-annual-real-time-communications-conference-and-expo/event-summary-ffc3acffa5af4bddae7a33f788e37f56.aspx>**WR CSP Summit - North America 2011
Driving Growth of Collaboration Services in an
Emerging Unified Communications Environment**

日時:10月11日

会場:米国マサチューセッツ州ボストン

主催:Wainhouse Research, LLC

詳細・申込:<http://www.wainhouse.com/event-calendar.php?sec=93>**VCI-Group Second Annual Conference**

日時:10月10日-12日

会場:米国ルイジアナ州ニューオーリンズ Sheraton New Orleans Hotel

主催:VCI-Group

詳細・申込:<http://www.vci-group.org/Events/Conference.aspx>**Twitter、Facebook**

ツイッターとフェイスブックを行っています。よろしければご覧ください。

Twitter 日本語版:<https://twitter.com/cnarjapan>Facebook:<http://www.facebook.com/keishashimoto>

また 6月7日にフェイスブックに、「テレビ会議・Web 会議・電話会議 & ユニファイドコミュニケーション研究会」

を開設しました。<http://on.fb.me/jugTNp>**編集後記**

今号もお読みいただきましてありがとうございました。

次号(9月15日号)もよろしくお願い致します。

橋本 啓介